

平成21年度科学研究費補助金の審査に係る総括

平成21年度科学研究費補助金（日本学術振興会審査担当分。以下、「科研費」）について、応募受付から審査終了までの総括は以下のとおりである。

1 全体のまとめ

(1) 審査結果（応募・採択状況）の特徴

① 「特別推進研究」

平成21年度の「特別推進研究」における応募件数は83件（昨年度114件）、採択件数は12件（同19件）、採択率は14.5%（同16.7%）であり、前年度と比べて応募件数及び採択件数が減少した。

採択件数の減少については、平成21年度の予算や特別推進研究の継続研究課題の後年度負担等により、新規研究課題に充当できる配分予算額が減少したためである。これに対して、審査会において、我が国を代表する研究課題を支援する「特別推進研究」において採択件数を減少させることは問題である旨の意見が出されており、今後、安定して新規研究課題を採択できる仕組みの構築が必要である。

② 「基盤研究」

平成21年度の「基盤研究」の採択件数は、S、A、B、Cすべてにおいて増加している。

採択件数の増加については、配分予算額の増加や1課題当たりの平均配分額の減少等によるものである。また、採択率もすべて上昇しているが、平均採択率は23.8%に止まっており、今後とも科研費の中心研究種目としてその充実が必要である。

③ 「挑戦的萌芽研究」

平成21年度の「挑戦的萌芽研究」への応募件数は昨年度に比べて2千件以上減少したが、これは、昨年度の「萌芽研究」の採択率が7.2%と極めて低かったことが影響したものと思われる。また、今年度、「挑戦的萌芽研究」の予算の増額はなかったが、萌芽研究の継続研究課題の内約額が少なかったため、新規研究課題に充当できる配分予算額が増加し、結果として昨年度より5百件以上多くの研究課題を採択することができ、採択率は12.3%となった。

しかしながら、本来の「挑戦的萌芽研究」の目的からすれば、比較的多くの課題を採択して、その中から真に大きなインパクトをもたらすものを生み出していくことが必要であり、予算の大幅な拡充が必要である。なお、来年度は継続研究課題の内約額が増加するため、予算の増額が図られないと新規採択件数は再び大きく減少することが予想される。

④「若手研究」

ア)「若手研究(S)」

平成21年度の「若手研究(S)」における応募件数は562件、採択件数は35件、採択率は6.2%であり、平成19年度の創設以来非常に厳しい採択率となっている。

採択件数は、極めて厳選されたものとなっており、審査状況からすると、採択に至らなかった研究課題でも、「若手研究(S)」に相応しいものが多数あった。

イ)「若手研究(A・B)」

若手研究(A・B)の年齢制限の上限が、37歳から39歳に引き上げられたことに伴い、応募件数が5千件以上増加した。また、予算配分額が増加したことから、採択件数も千5百件以上増加しており、若手研究者への支援が充実したと思われる。

⑤「研究成果公開促進費」

ここ数年、本種目に対する予算額が大幅に削減されたため、特に、「学術定期刊行物」及び「学術図書」の応募、採択に大きな影響が出ていた。このため、平成21年度において、これらへの予算配分を配慮したことなどにより、ある程度、採択率の改善を図ることができた。しかし、本種目に対する潜在的な需要は、実際に応募件数を上回るものであることは明らかであり、予算の増額を含めた抜本的な改善が必要である。

(2) 主な制度改善

① 研究進捗評価結果を次の審査に活かす仕組み

大型研究種目については、従来から中間・事後評価を実施してきたが、平成20年度から、両評価を統一して「研究進捗評価」に改めるとともに、平成21年度より、その評価結果を次の審査に活かす仕組みを導入した。

なお、本年度は、平成20年度に研究進捗評価を受けた研究者105名のうち、「A+」評価(期待以上の成果が見込まれる研究課題)を受けた8名中3名が3件の新規研究課題を応募し、3件とも採択された。また、「A」評価(期待どおりの成果が見込まれる研究課題)を受けた78名中18名が20件の新規研究課題を応募し、8件が採択された。

② 英文版公募要領、研究計画調書等の作成

科研費においては、従来から英語での研究計画調書の作成が可能であったが、関係の書類は英文のものがなかった。国内の研究環境の国際化の進展に対応するため、平成21年度科研費の公募要領及び研究計画調書について、英文版を作成した。また、科研費が採択されたすべての研究者に配布している研究者ハンドブックについても英語版を作成し、これらについては、科研費のホームページから入手できるようにした。

今回の措置により、英語による応募は増えたが、全体数としては必ずしも多くない状況にある。関係資料の英文化についての周知を一層図ることにより、すでに国内の研究機関に所属している外国人研究者からの応募が増加するとともに、日本の

研究機関への外国人研究者の赴任にも影響をもたらし、国内の研究環境の国際化につながることを期待される。

③ 「研究成果公開促進費・学術定期刊行物」における改善

学術定期刊行物については、各学協会において競争入札を導入するなどの効率化を図られてきているが、効率化をさらに促進するため、毎年8分の1程度の採択課題について、複数年（最長4年）の内約を認めるとともに、次年度以降の補助金の充足率を段階的に引き下げる方式を採用した。これにより、学協会の負担は段階的に増すものの、ジャーナル刊行に関するより計画的な取り組みが可能になると思われる。

④ 研究が予想以上に進展した場合に研究期間終了前に新規課題を応募できる仕組み

研究が予想以上に進展し、当初の到達目標を研究期間終了前に達成した場合に、新しい研究課題を応募することを可能とした。

平成21年度応募では、該当研究課題1件の応募があったが、不採択となっている。

(3) 電子システムの改善

科研費の応募受付については、平成18年度から3年計画で電子化を進めてきたが、今回の受付において特別推進研究、基盤研究、若手研究及び萌芽研究について、応募手続の完全電子化を達成した。完全電子化に伴い、電子申請による応募件数が大幅に増えることが予想されたため、回線容量及びサーバーの増強を図って対応したが、応募締め切りを控えた10月中旬以降の一時期、電子申請システムにアクセスが集中したためにシステムにつながりにくい状況が発生した。これについては、速やかに所要の改善措置が講じられ、大きなトラブルには至らなかったが、来年度に向けて、同様のトラブルが生じないよう万全の体制を整える必要がある。

(4) 審査に関する改善

① 基盤研究等

- 「第一段審査の手引き」に、昨年度から記載している模範となる審査意見の例に加え、新たに不十分な審査意見の例も記載し、審査委員に適切な審査意見の記載を促した。
- 第一段審査委員に送付している、「第1段審査（書面審査）で特に留意していただきたいこと」（A4版1枚）の記載内容を更に充実し、より分かりやすいものとした。
- 合議審査においては、第一段審査委員（書面審査委員）の評価が大きく分かれている応募研究課題について、審査資料において強調表示を行い、特に注意深く審査することを促した。

これにより、研究計画調書に基づき改めて評価を行い、平均点では下位に位置していたいくつかの課題が採択され、優れた課題をより多く採択することに大きく役立ったと思われる。

② 挑戦的萌芽研究

「挑戦的萌芽研究」では、挑戦的で高い目標設定を掲げた芽生え期の研究を支援

するため、「基盤研究」等において行われている相対評価による総合評点の平均点方式とは異なる評価方式を新たに採用した。新たな評価方式においては、書面審査において、「挑戦的萌芽研究」にふさわしい、最上位の研究課題に「AA」、これに次ぐ課題に「A」を付すこととし、それ以外の課題については総合評価を付さないこととした。その上で、合議審査においては、複数の審査委員の中で一つでも「AA」が付された課題を重視しながら、慎重に採否を検討する方法を採用した。この評価方式の有効性については、今後、採択研究課題の研究成果等を踏まえ検証していくことが必要である。

③ 特別推進研究の審査意見書作成者への海外の研究者の参画

平成21年度から特別推進研究においては、国際的な視野からの審査を行うため、海外の研究機関に所属する研究者を審査意見書作成者として参画願うこととした。海外研究者の参画にあたっては、研究アイデアの海外への流出を防止するため、研究計画の概要及び研究実績や受賞歴などを元に「当該研究者が当該研究分野において国際的に高い評価を得ているか」、「当該研究分野の現状と動向の中で当該研究課題が国際的に高い評価を得られるものであるか」の二つの観点について意見を求めた。

なお、今回、初めて海外研究者に審査意見書作成者として参画を願ったところであり、数年経ったところで検証していくことが必要である。

(5) 交付内定の早期化

審査における電子化などによって、審査期間を短縮することなく効率化を図った結果、新規研究課題の交付内定通知を昨年度よりも7日早め、年度当初の4月1日に行うことができた。これにより、継続課題だけでなく新規採択課題についても、年度当初より研究費の執行が可能となった。

また、ヒアリング審査を伴う特別推進研究においても審査の早期化を進め、文部科学省に対し昨年より38日早い4月22日付けで審査結果の報告を行った。

次に、応募書類の受付から審査の状況、審査結果の概要等まとめる。

2. 応募書類の受付

応募書類の受付については、研究種目ごとに次のとおり行った。

なお、応募書類の受付後、応募情報を電算処理した結果、「重複応募の制限」ルールに抵触した研究課題として、審査開始以前に12件を審査対象から除外した。

(1) 特別推進研究、基盤研究、挑戦的萌芽研究、若手研究

「電子申請システム」を活用して、平成20年11月10日（月）を研究計画調書の提出（送信）期限として受付を行った。

(2) 研究成果公開促進費

平成20年11月5日（水）～11月10日（月）を受付期間として、持参及び送付による応募書類の受付を行った。

(3) 奨励研究

平成20年12月8日（月）～12月10日（水）を受付期間として、持参及び送付による応募書類の受付を行った。

3. 審査組織

審査は、科学研究費委員会（別紙1）において、「科学研究費補助金（基盤研究等）における審査及び評価に関する規程」に基づき、研究種目ごとに次の組織において実施した。

(1) 特別推進研究

審査・評価第一部会に置かれる専門分野ごとの3小委員会及び運営小委員会

(2) 基盤研究（S）、若手研究（S）

審査・評価第二部会に置かれる専門分野ごとの12小委員会及び運営小委員会

(3) 基盤研究（A・B）、挑戦的萌芽研究

審査第一部会に置かれる専門分野ごとの18小委員会

(4) 基盤研究（C）、若手研究（A・B）

審査第二部会に置かれる専門分野ごとの15小委員会及び運営小委員会

(5) 奨励研究

奨励研究部会に置かれる専門分野ごとの3小委員会

(6) 研究成果公開促進費

成果公開部会に置かれる専門分野ごとの4小委員会及び運営小委員会

4. 審査方法

研究種目毎に、次の審査方法により審査を実施した。

なお、審査委員の総数は5,609名（内訳：第1段審査委員（書面審査委員）4,484名、合議審査委員1,125名）である。

(1) 特別推進研究

個々の研究課題について、国内及び海外の研究機関に所属する審査意見書作成者（各3名）が作成した審査意見書等に基づき、各小委員会の審査委員が事前個別審査を行い、合議審査によりヒアリング研究課題を選定し、その後のヒアリング審査により採択研究課題を決定した。

(2) 基盤研究（S）、若手研究（S）

個々の研究課題について6名が専門的見地から書面審査を実施し、その結果を基にして、各小委員会において合議審査によりヒアリング研究課題を選定し、その後のヒアリング審査により採択研究課題を決定した。

(3) 基盤研究（A・B・C）（一般）、若手研究（A・B）

個々の研究課題について6名（基盤研究（A・B））又は3名（基盤研究（C）及び若手研究（A・B））が専門的見地から第1段審査（書面審査）を実施し、その結果を基にして、広い立場から総合的に必要な調整を行うことを主眼とし、各小委員会において合議審査により採択研究課題を決定した。

(4) 基盤研究（A・B）（海外学術調査）

個々の研究課題について、各小委員会に属する関連審査委員6名が事前に書面審査を実施し、その結果を基にして、各小委員会において合議審査により採択研究課題を決定した。

(5) 挑戦的萌芽研究

個々の研究課題について3名が専門的見地から第1段階審査（書面審査）を実施し、第1段階審査において最上位の研究課題に付された相対的な2段階評価の結果を重視しつつ、各小委員会において合議審査により採択研究課題を決定した。

(6) 奨励研究

個々の研究課題について、各小委員会に属する関連審査委員2名が事前に書面審査を実施し、その結果を基にして、各小委員会において合議審査により採択研究課題を決定した。

(7) 研究成果公開促進費

個々の研究課題について、各小委員会に属する関連審査委員3名が事前に書面審査を実施し、その結果を基にして、各小委員会において合議審査により採択研究課題を決定した。

5. 審査の経過

各研究種目ごとの審査の経過は次のとおりである。

(1) 特別推進研究

平成20年12月22日（月）～平成21年1月29日（木）に審査意見書作成者に審査意見書の作成を依頼した。

平成21年2月3日（火）～3月2日（月）に審査・評価第一部会の各小委員会（62名）において事前個別審査を実施した。

平成21年3月5日（木）～3月11日（水）に事前個別審査の集計結果に基づき合議審査を実施し、ヒアリング研究課題の選定を行った。

平成21年4月3日（金）～4月14日（火）にヒアリング審査を実施し、採択候補研究課題を選定した。

平成21年4月21日（火）の運営小委員会において、各小委員会の審査結果を踏まえ、採択研究課題を決定した。

(2) 基盤研究（S）、若手研究（S）

平成20年12月8日（月）～平成21年1月18日（日）に書面審査を実施した。

平成21年2月16日（月）～平成21年3月3日（火）に審査・評価第二部会の各小委員会（125名）において、書面審査結果を踏まえた合議審査を実施し、ヒアリング研究課題の選定を行った。

平成21年3月25日（水）～4月17日（金）にヒアリング審査を実施し、採択候補研究課題を選定した。

平成21年4月28日（火）の運営小委員会において、各小委員会の審査結果を踏まえ、採択研究課題を決定した。

(3) 基盤研究（A・B・C）（一般）、若手研究（A・B）

平成20年12月8日（月）～平成21年1月18日（日）に第1段階審査を実施した。

平成21年2月16日（月）～3月6日（金）に審査第一部会及び審査第二部会の各小委員会（431名）において、第1段階審査結果に基づき合議審査を実施し、採択研究課題を決定した。

(4) 基盤研究（A・B）（海外学術調査）

平成20年12月8日（月）～平成21年1月18日（日）に事前の書面審査を実

施した。

平成21年2月20日（金）、審査第一部会の3小委員会（52名）において、事前の書面審査結果に基づき合議審査を実施し、採択研究課題を決定した。

(5) 挑戦的萌芽研究

平成20年12月8日（月）～平成21年1月18日（日）に第1段審査を実施した。

平成21年2月24日（火）～3月5日（木）に審査第一部会の各小委員会（262名）において、第1段審査において最上位の研究課題に付された相対的な2段階評価の結果を重視しつつ、合議審査により採択研究課題を決定した。

(6) 奨励研究

平成21年1月9日（金）～平成21年2月6日（金）に事前の書面審査を実施した。

平成21年2月27日（金）、奨励研究部会の3小委員会（71名）において、事前の書面審査結果に基づき合議審査を実施し、採択研究課題を決定した。

(7) 研究成果公開促進費

平成20年12月18日（木）～平成21年1月23日（金）に事前の書面審査を実施した。

平成21年2月3日（火）～2月26日（木）に成果公開部会の4小委員会（76名）において、事前の書面審査結果に基づき合議審査を実施し、採択研究課題を決定した。

6. 応募・採択等の状況

(1) 研究種目毎の応募・採択等の状況（別紙2）

(2) 研究種目別・分野別の状況（別紙3）

① 特別推進研究

② 基盤研究（S）

③ 基盤研究（A）

④ 基盤研究（B）

⑤ 基盤研究（C）

⑥ 若手研究（S）

⑦ 若手研究（A）

⑧ 若手研究（B）

⑨ 挑戦的萌芽研究

⑩ 奨励研究

⑪ 研究成果公開促進費

(3) 研究機関種別の状況（別紙4）

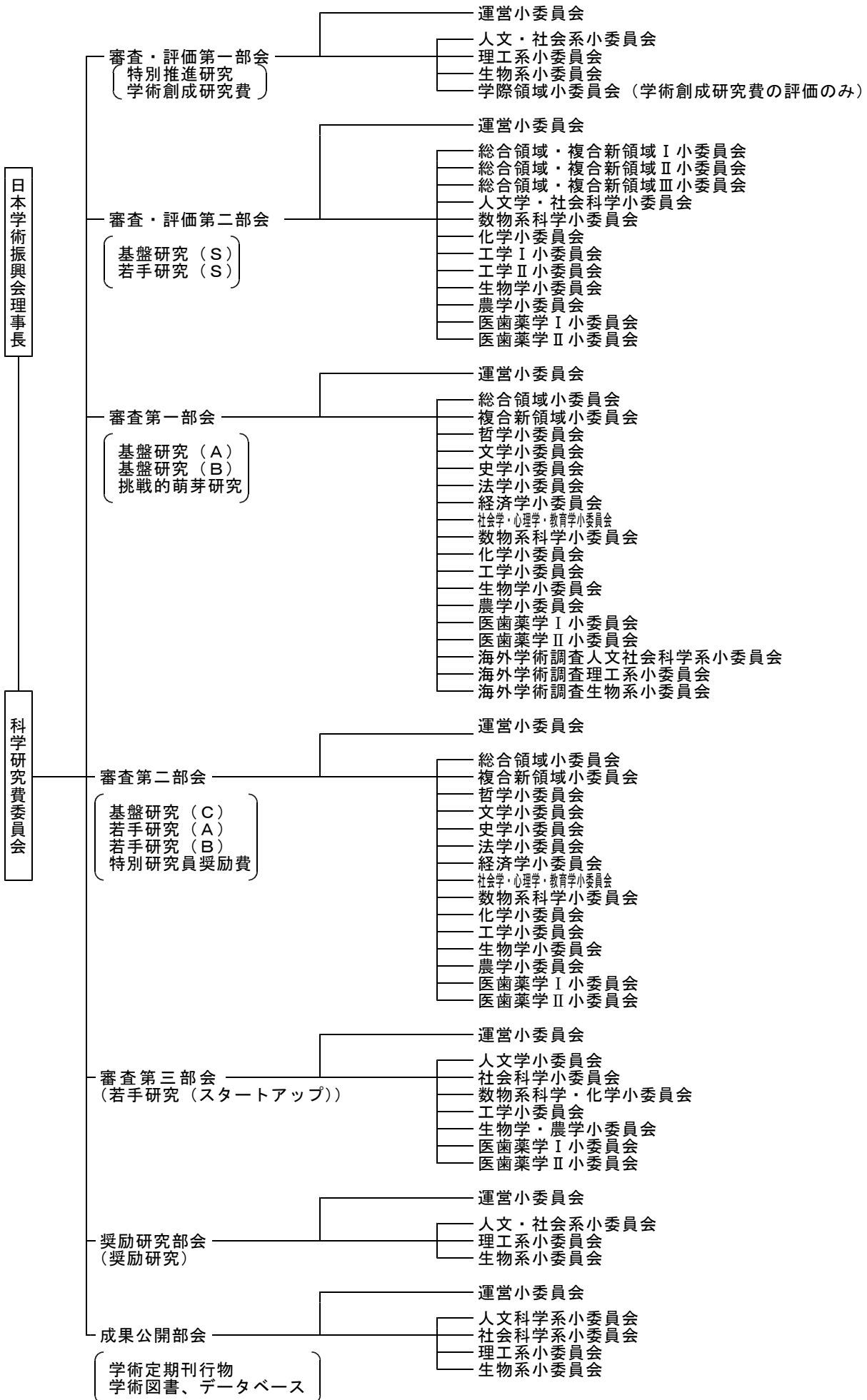
(4) 職種別の状況（別紙5）

(5) 男女別の状況（別紙6）

(6) 年齢別の状況（別紙7）

(7) 研究分野別の状況（別紙8）

科学研究費委員会組織図



平成21年度科学研究費補助金(基盤研究等)の審査結果

【新規採択分】

平成21年5月現在

研究種目	研究課題数			配分額	1課題当たりの配分額	
	応募	採択	採択率		平均	最高
	件	件	%	千円	千円	千円
科学研究費	[87,304] 89,529	[17,534] 20,395	[20.1] 22.8	[50,929,465] 56,354,521 [16,003,020]	[2,905] 2,763	[261,400] 182,800
(1)特別推進研究 ※	[114] 83	[19] 12	[16.7] 14.5	[1,907,800] 1,389,100 [416,730]	[100,411] 115,758	[261,400] 182,800
(2)基盤研究(S)	[551] 489	[85] 100	[15.4] 20.4	[3,329,400] 4,120,700 [1,236,210]	[39,169] 41,207	[96,800] 107,400
(3)基盤研究(A)	[2,439] 2,366	[545] 567	[22.3] 24.0	[7,307,000] 7,440,700 [2,232,210]	[13,407] 13,123	[31,400] 34,800
(4)基盤研究(B)	[11,717] 11,019	[2,601] 2,749	[22.2] 24.9	[14,924,200] 15,116,200 [4,534,860]	[5,738] 5,499	[14,500] 14,400
(5)基盤研究(C)	[32,939] 33,019	[7,128] 7,764	[21.6] 23.5	[10,570,900] 11,303,300 [3,390,990]	[1,483] 1,456	[3,600] 3,600
(6)挑戦の萌芽研究	[15,605] 13,336	[1,117] 1,640	[7.2] 12.3	[1,983,000] 2,660,800	[1,775] 1,622	[3,700] 3,500
(7)若手研究(S)	[805] 562	[39] 35	[4.8] 6.2	[812,100] 768,700 [230,610]	[20,823] 21,963	[55,800] 50,400
(8)若手研究(A) ※	[1,430] 1,871	[254] 350	[17.8] 18.7	[1,993,300] 2,936,200 [880,860]	[7,848] 8,389	[16,900] 19,900
(9)若手研究(B) ※	[18,322] 23,355	[5,068] 6,487	[27.7] 27.8	[7,751,800] 10,268,500 [3,080,550]	[1,530] 1,583	[3,500] 3,500
(10)奨励研究	[3,382] 3,429	[678] 691	[20.0] 20.2	[349,965] 350,321	[516] 507	[900] 820
研究成果公開促進費	[1,194] 1,051	[406] 432	[34.0] 41.1	[1,209,500] 1,186,900	[2,979] 2,747	[43,100] 41,800
学術定期刊行物	[146] 140	[100] 109	[68.5] 77.9	[434,900] 431,100	[4,349] 3,955	[43,100] 41,800
学術図書	[791] 703	[224] 239	[28.3] 34.0	[367,600] 394,100	[1,641] 1,649	[8,000] 10,600
データベース	[257] 208	[82] 84	[31.9] 40.4	[407,000] 361,700	[4,963] 4,306	[27,300] 17,500
合計	[88,498] 90,580	[17,940] 20,827		[52,138,965] 57,541,421 [16,003,020]	[2,906] 2,763	[261,400] 182,800

(注1) 上段〔 〕内は、前年度を示す。

(注2) 【 】は、間接経費(外数)。

(注3) 「若手研究(スタートアップ)」、「特別研究員奨励費」を除く。

※については、文部科学省において、交付を行う研究種目。

平成21年度科学研究費補助金(基盤研究等)の審査結果

【新規採択分＋継続分】

平成21年5月現在

研究種目	研究課題数			配分額	1課題当たりの配分額	
	応募	採択	採択率		平均	最高
	件	件	%	千円	千円	千円
科学研究費	[114,023] 115,902	[44,188] 46,715	[38.8] 40.3	[109,223,873] 113,689,524 [32,738,556]	[2,472] 2,434	[306,100] 317,500
(1)特別推進研究 ※	[181] 152	[86] 81	[47.5] 53.3	[7,031,200] 6,714,200 [2,014,260]	[81,758] 82,891	[306,100] 317,500
(2)基盤研究(S)	[832] 789	[363] 398	[43.6] 50.4	[7,351,400] 9,655,200 [2,896,560]	[20,252] 24,259	[96,800] 107,400
(3)基盤研究(A)	[3,672] 3,635	[1,767] 1,822	[48.1] 50.1	[17,206,700] 17,267,200 [5,180,160]	[9,738] 9,477	[34,300] 34,800
(4)基盤研究(B)	[16,709] 15,911	[7,559] 7,619	[45.2] 47.9	[32,224,700] 31,160,100 [9,348,030]	[4,263] 4,090	[14,500] 14,400
(5)基盤研究(C)	[43,896] 44,236	[18,068] 18,966	[41.2] 42.9	[21,301,619] 21,088,403 [6,326,521]	[1,179] 1,112	[3,600] 3,600
(6)挑戦的萌芽研究	[17,684] 14,834	[3,196] 3,138	[18.1] 21.2	[4,207,955] 4,210,682	[1,317] 1,342	[3,700] 3,500
(7)若手研究(S)	[840] 635	[74] 108	[8.8] 17.0	[1,412,100] 1,983,900 [595,170]	[19,082] 18,369	[55,800] 50,400
(8)若手研究(A) ※	[1,928] 2,313	[752] 792	[39.0] 34.2	[4,087,632] 4,728,600 [1,418,580]	[5,436] 5,970	[16,900] 19,900
(9)若手研究(B) ※	[24,899] 29,968	[11,645] 13,100	[46.8] 43.7	[14,050,603] 16,530,918 [4,959,276]	[1,207] 1,262	[3,500] 3,500
(10)奨励研究	[3,382] 3,429	[678] 691	[20.0] 20.2	[349,965] 350,321	[516] 507	[900] 820
研究成果公開促進費	[1,203] 1,063	[415] 444	[34.5] 41.8	[1,225,000] 1,225,000	[2,952] 2,759	[43,100] 41,800
学術定期刊行物	[148] 143	[102] 112	[68.9] 78.3	[438,000] 449,800	[4,294] 4,016	[43,100] 41,800
学術図書	[797] 710	[230] 246	[28.9] 34.6	[375,600] 406,300	[1,633] 1,652	[8,000] 10,600
データベース	[258] 210	[83] 86	[32.2] 41.0	[411,400] 368,900	[4,957] 4,290	[27,300] 17,500
学術創成研究費	[79] 59	[79] 59	[100.0] 100.0	[5,766,200] 4,013,600 [1,204,080]	[72,990] 68,027	[109,300] 102,800
合計	[115,305] 117,024	[44,682] 47,218		[116,215,073] 118,928,124 [33,942,636]	[2,601] 2,519	[306,100] 317,500

(注1)上段〔 〕内は、前年度を示す。

(注2)【 】は、間接経費(外数)。

(注3)「若手研究(スタートアップ)」、「特別研究員奨励費」を除く。

※については、文部科学省において、交付を行う研究種目。

(2)研究種目別・分野別の状況

—新規応募課題—

①特別推進研究

(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
人文社会系	2	0	0.0%	0.0%	0	0.0%
数物系科学	31	4	33.3%	12.9%	434,000	31.2%
化学	10	2	16.7%	20.0%	271,500	19.5%
工学	22	2	16.7%	9.1%	240,600	17.3%
生物系	18	4	33.3%	22.2%	443,000	31.9%
合計	83	12	100.0%	14.5%	1,389,100	100.0%

②基盤研究(S)

(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
総合領域	51	11	11.0%	21.6%	514,800	12.5%
複合・新領域	59	11	11.0%	18.6%	395,500	9.6%
総合・新領域系(小計)	110	22	22.0%	20.0%	910,300	22.1%
人文学	11	3	3.0%	27.3%	63,800	1.5%
社会学	7	2	2.0%	28.6%	63,700	1.5%
人文社会系(小計)	18	5	5.0%	27.8%	127,500	3.1%
数物系科学	76	14	14.0%	18.4%	657,500	16.0%
化学	43	7	7.0%	16.3%	396,200	9.6%
工学	104	22	22.0%	21.2%	870,300	21.1%
理工系(小計)	223	43	43%	19.3%	1,924,000	46.7%
生物学	32	8	8%	25.0%	285,300	6.9%
農学	31	7	7%	22.6%	251,000	6.1%
医歯薬学	75	15	15%	20.0%	622,600	15.1%
生物系(小計)	138	30	30%	21.7%	1,158,900	28.1%
合計	489	100	100%	20.4%	4,120,700	100.0%

③基盤研究(A)

(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
総合領域	256	68	11.0%	26.6%	862,100	10.5%
複合・新領域	241	61	9.9%	25.3%	833,100	10.1%
総合・新領域系(小計)	497	129	20.9%	26.0%	1,695,200	20.6%
人文学	134	42	6.8%	31.3%	377,200	4.6%
社会学	172	51	8.3%	29.7%	447,000	5.4%
人文社会系(小計)	306	93	15.1%	30.4%	824,200	10.0%
数物系科学	277	74	12.0%	26.7%	1,078,600	13.1%
化学	136	35	5.7%	25.7%	593,300	7.2%
工学	559	135	21.9%	24.2%	2,042,700	24.8%
理工系(小計)	972	244	39.5%	25.1%	3,714,600	45.1%
生物学	110	32	5.2%	29.1%	388,700	4.7%
農学	158	38	6.2%	24.1%	502,400	6.1%
医歯薬学	323	81	13.1%	25.1%	1,110,600	13.5%
生物系(小計)	591	151	24.5%	25.5%	2,001,700	24.3%
合計	2,366	617	100.0%	26.1%	8,235,700	100.0%

④基盤研究(B)

(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
総合領域	1,290	333	12.1%	25.8%	1,721,700	11.4%
複合・新領域	789	204	7.4%	25.9%	1,119,900	7.4%
総合・新領域系(小計)	2,079	537	19.5%	25.8%	2,841,600	18.8%
人文学	708	201	7.3%	28.4%	788,900	5.2%
社会学	899	251	9.1%	27.9%	997,600	6.6%
人文社会系(小計)	1,607	452	16.4%	28.1%	1,786,500	11.8%
数物系科学	726	182	6.6%	25.1%	1,020,600	6.7%
化学	561	124	4.5%	22.1%	890,200	5.9%
工学	2,054	483	17.6%	23.5%	3,039,300	20.1%
理工系(小計)	3,341	789	28.7%	23.6%	4,950,100	32.7%
生物学	475	120	4.4%	25.3%	643,000	4.3%
農学	966	231	8.4%	23.9%	1,352,500	8.9%
医歯薬学	2,551	622	22.6%	24.4%	3,551,900	23.5%
生物系(小計)	3,992	973	35.4%	24.4%	5,547,400	36.7%
合計	11,019	2,751	100.0%	25.0%	15,125,600	100.0%

⑤基盤研究(C)

(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
総合領域	3,945	916	11.8%	23.2%	1,334,900	11.8%
複合・新領域	1,160	267	3.4%	23.0%	399,700	3.5%
総合・新領域系(小計)	5,105	1,183	15.2%	23.2%	1,734,600	15.3%
人文学	2,641	762	9.8%	28.9%	808,700	7.2%
社会学	3,411	945	12.2%	27.7%	1,070,800	9.5%
人文社会系(小計)	6,052	1,707	22.0%	28.2%	1,879,500	16.6%
数物系科学	1,863	468	6.0%	25.1%	596,300	5.3%
化学	915	190	2.4%	20.8%	344,900	3.1%
工学	3,716	798	10.3%	21.5%	1,359,100	12.0%
理工系(小計)	6,494	1,456	18.8%	22.4%	2,300,300	20.3%
生物学	1,027	225	2.9%	21.9%	361,600	3.2%
農学	1,729	379	4.9%	21.9%	622,500	5.5%
医歯薬学	11,895	2,659	34.2%	22.4%	4,155,000	36.8%
生物系(小計)	14,651	3,263	42.0%	22.3%	5,139,100	45.5%
時限付き分科細目	718	156	2.0%	21.7%	251,500	2.2%
合計	33,020	7,765	100.0%	23.5%	11,305,000	100.0%

⑥若手研究(S)

(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
総合領域	81	4	11.4%	4.9%	91,500	11.9%
複合・新領域	50	4	11.4%	8.0%	86,500	11.3%
総合・新領域系(小計)	131	8	22.9%	6.1%	178,000	23.2%
人文学	5	1	2.9%	20.0%	14,000	1.8%
社会学	14	1	2.9%	7.1%	14,800	1.9%
人文社会系(小計)	19	2	5.7%	10.5%	28,800	3.7%
数物系科学	56	3	8.6%	5.4%	75,200	9.8%
化学	46	3	8.6%	6.5%	78,500	10.2%
工学	124	7	20.0%	5.6%	167,000	21.7%
理工系(小計)	226	13	37.1%	5.8%	320,700	41.7%
生物学	38	3	8.6%	7.9%	53,500	7.0%
農学	29	2	5.7%	6.9%	35,800	4.7%
医歯薬学	119	7	20.0%	5.9%	151,900	19.8%
生物系(小計)	186	12	34.3%	6.5%	241,200	31.4%
合計	562	35	100.0%	6.2%	768,700	100.0%

⑦若手研究(A)

(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
総合領域	288	57	16.3%	19.8%	415,000	14.1%
複合・新領域	170	31	8.9%	18.2%	276,900	9.4%
総合・新領域系(小計)	458	88	25.1%	19.2%	691,900	23.6%
人文学	15	5	1.4%	33.3%	15,300	0.5%
社会学	31	9	2.6%	29.0%	35,300	1.2%
人文社会系(小計)	46	14	4.0%	30.4%	50,600	1.7%
数物系科学	178	34	9.7%	19.1%	289,800	9.9%
化学	159	26	7.4%	16.4%	274,700	9.4%
工学	500	88	25.1%	17.6%	833,000	28.4%
理工系(小計)	837	148	42.3%	17.7%	1,397,500	47.6%
生物学	109	21	6.0%	19.3%	173,300	5.9%
農学	122	24	6.9%	19.7%	184,200	6.3%
医歯薬学	299	55	15.7%	18.4%	438,700	14.9%
生物系(小計)	530	100	28.6%	18.9%	796,200	27.1%
合計	1,871	350	100.0%	18.7%	2,936,200	100.0%

⑧若手研究(B)

(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
総合領域	3,114	862	13.3%	27.7%	1,356,800	13.2%
複合・新領域	1,021	273	4.2%	26.7%	464,500	4.5%
総合・新領域系(小計)	4,135	1,135	17.5%	27.4%	1,821,300	17.7%
人文学	955	335	5.2%	35.1%	342,600	3.3%
社会学	2,071	730	11.3%	35.2%	750,800	7.3%
人文社会系(小計)	3,026	1,065	16.4%	35.2%	1,093,400	10.6%
数物系科学	1,398	403	6.2%	28.8%	596,200	5.8%
化学	928	225	3.5%	24.2%	459,100	4.5%
工学	2,832	723	11.1%	25.5%	1,336,300	13.0%
理工系(小計)	5,158	1,351	20.8%	26.2%	2,391,600	23.3%
生物学	1,061	269	4.1%	25.4%	500,600	4.9%
農学	1,199	315	4.9%	26.3%	547,400	5.3%
医歯薬学	8,776	2,352	36.3%	26.8%	3,914,200	38.1%
生物系(小計)	11,036	2,936	45.3%	26.6%	4,962,200	48.3%
合計	23,355	6,487	100.0%	27.8%	10,268,500	100.0%

⑨挑戦の萌芽研究

(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
総合領域	1,833	231	14.1%	12.6%	352,100	13.2%
複合・新領域	875	105	6.4%	12.0%	182,400	6.8%
総合・新領域系(小計)	2,708	336	20.5%	12.4%	534,500	20.1%
人文学	458	73	4.4%	15.9%	73,800	2.8%
社会学	725	112	6.8%	15.4%	122,600	4.6%
人文社会系(小計)	1,183	185	11.3%	15.6%	196,400	7.4%
数物系科学	636	83	5.1%	13.1%	123,800	4.6%
化学	737	81	4.9%	11.0%	158,100	5.9%
工学	2,089	239	14.5%	11.4%	447,300	16.8%
理工系(小計)	3,462	403	24.5%	11.6%	729,200	27.4%
生物学	576	67	4.1%	11.6%	118,900	4.5%
農学	1,022	118	7.2%	11.5%	212,300	8.0%
医歯薬学	4,385	534	32.5%	12.2%	874,000	32.8%
生物系(小計)	5,983	719	43.8%	12.0%	1,205,200	45.2%
合計	13,336	1,643	100.0%	12.3%	2,665,300	100.0%

⑩奨励研究

(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
人文社会学系	1,189	250	36.3%	21.0%	119,270	34.1%
理工系	907	179	26.0%	19.7%	93,770	26.8%
生物系	1,331	260	37.7%	19.5%	136,400	39.0%
合計	3,427	689	100.0%	20.1%	349,440	100.0%

⑪研究成果公開促進費

(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
人文科学系	433	164	38.0%	37.9%	343,300	28.9%
社会科学系	310	123	28.5%	39.7%	202,400	17.1%
理工系	99	49	11.3%	49.5%	276,200	23.3%
生物系	134	65	15.0%	48.5%	267,300	22.5%
広領域	75	31	7.2%	41.3%	97,700	8.2%
合計	1,051	432	100.0%	41.1%	1,186,900	100.0%

うち「学術定期刊行物」

(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
人文科学系	26	21	19.3%	80.8%	26,700	6.2%
社会科学系	27	21	19.3%	77.8%	25,300	5.9%
理工系	22	21	19.3%	95.5%	189,800	44.0%
生物系	53	36	33.0%	67.9%	175,500	40.7%
広領域	12	10	9.2%	83.3%	13,800	3.2%
合計	140	109	100.0%	77.9%	431,100	100.0%

うち「学術図書」

(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
人文科学系	342	113	47.3%	33.0%	189,800	48.2%
社会科学系	259	90	37.7%	34.7%	127,500	32.4%
理工系	35	13	5.4%	37.1%	23,000	5.8%
生物系	29	10	4.2%	34.5%	18,100	4.6%
広領域	38	13	5.4%	34.2%	35,700	9.1%
合計	703	239	100.0%	34.0%	394,100	100.0%

うち「データベース」

(単位:千円)

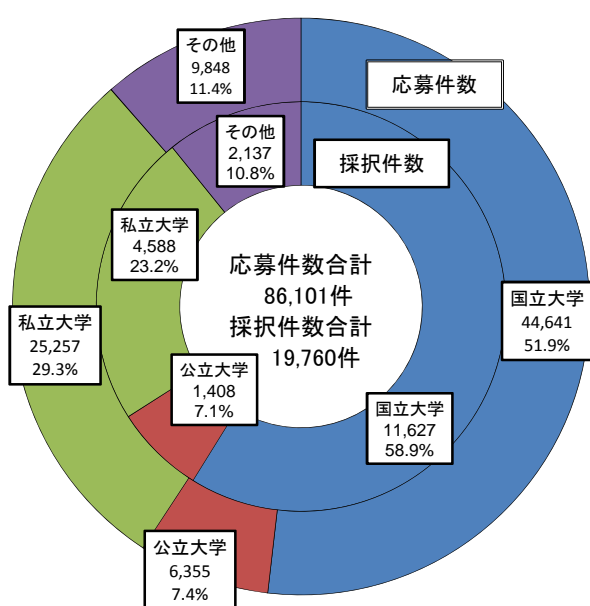
区分	応募件数	採択件数	全体比	採択率	配分額	全体比
人文科学系	65	30	35.7%	46.2%	126,800	35.1%
社会科学系	24	12	14.3%	50.0%	49,600	13.7%
理工系	42	15	17.9%	35.7%	63,400	17.5%
生物系	52	19	22.6%	36.5%	73,700	20.4%
広領域	25	8	9.5%	32.0%	48,200	13.3%
合計	208	84	100.0%	40.4%	361,700	100.0%

(3) 研究機関種別の状況

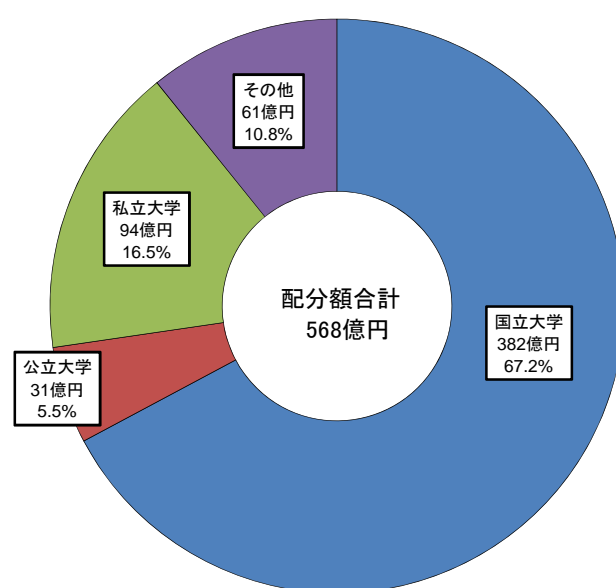
(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額 (直接経費)	配分額 (間接経費)	配分額(合計) 直接+間接
国立大学	44,641	11,627	26.0%	38,189,000	10,863,180	49,052,180
公立大学	6,355	1,408	22.2%	3,113,600	888,420	4,002,020
私立大学	25,257	4,588	18.2%	9,379,300	2,715,150	12,094,450
その他	9,848	2,137	21.7%	6,132,900	1,778,100	7,911,000
短期大学、 高等専門学校	2,773	261	9.4%	420,700	121,860	542,560
大学共同利用機関法人	835	248	29.7%	1,114,400	327,270	1,441,670
国公立試験研究機関	1,455	407	28.0%	857,700	246,090	1,103,790
特殊法人、 独立行政法人	3,859	1,002	26.0%	3,003,400	874,020	3,877,420
一般社団法人、 一般財団法人	805	196	24.3%	656,100	185,160	841,260
企業等の研究所	121	23	19.0%	80,600	23,700	104,300
合計	86,101	19,760	22.9%	56,814,800	16,244,850	73,059,650

※対象:「特別推進研究」、「基盤研究(S)(A)(B)(C)」、「挑戦的萌芽研究」、「若手研究(S)(A)(B)」



応募・採択件数



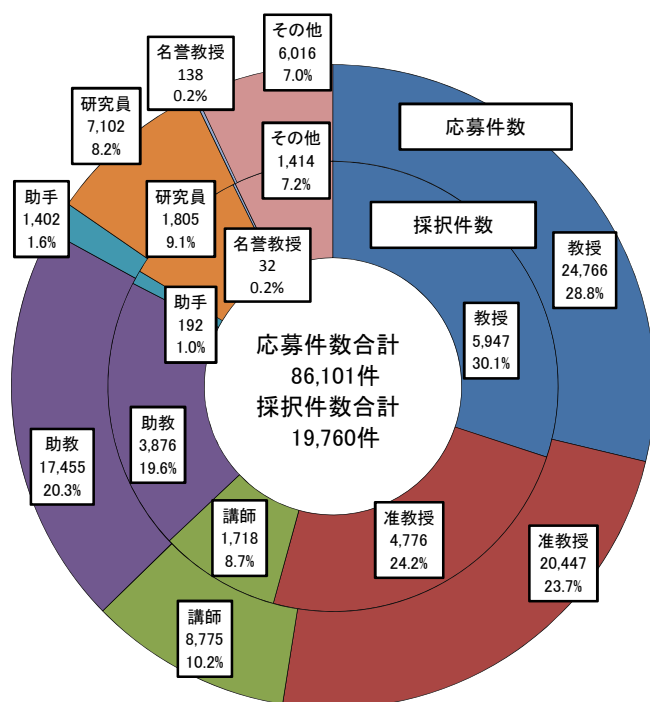
配分額

(4) 職種別の状況

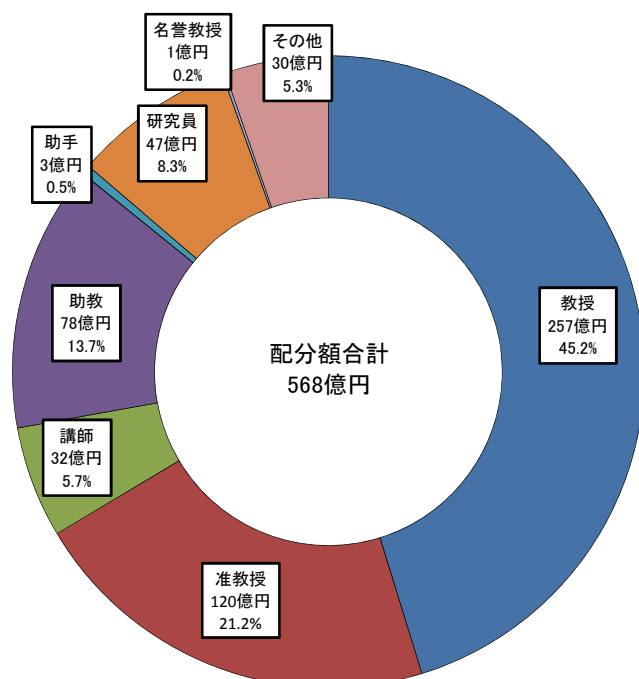
(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額 (直接経費)
教授	24,766	5,947	24.0%	25,690,100
准教授	20,447	4,776	23.4%	12,057,800
講師	8,775	1,718	19.6%	3,244,800
助教	17,455	3,876	22.2%	7,761,100
助手	1,402	192	13.7%	269,700
研究員	7,102	1,805	25.4%	4,696,300
名誉教授	138	32	23.2%	90,100
その他	6,016	1,414	23.5%	3,004,900
合計	86,101	19,760	22.9%	56,814,800

※対象:「特別推進研究」、「基盤研究(S)(A)(B)(C)」、「挑戦的萌芽研究」、「若手研究(S)(A)(B)」



応募・採択件数



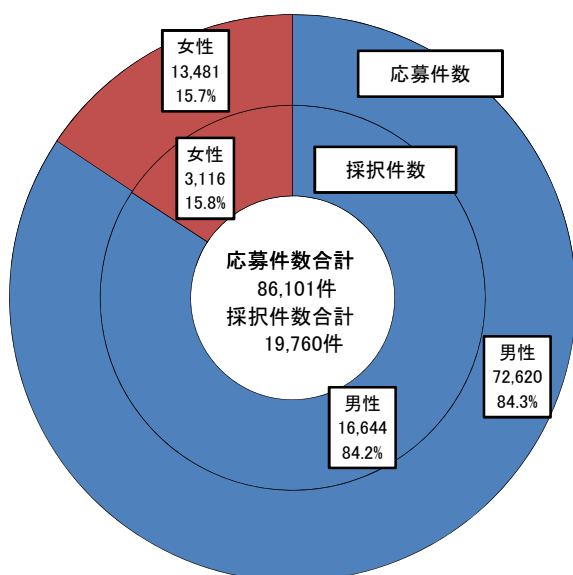
配分額

(5)男女別の状況

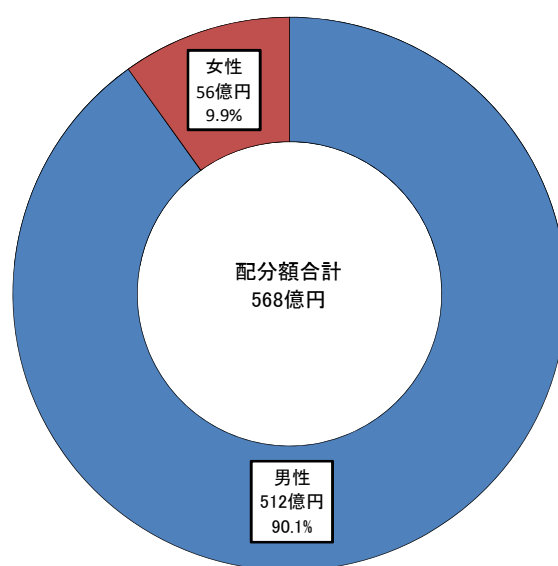
(単位:千円)

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額 (直接経費)
男性	72,620	16,644	22.9%	51,187,800
女性	13,481	3,116	23.1%	5,627,000
合計	86,101	19,760	22.9%	56,814,800

※対象:「特別推進研究」、「基盤研究(S)(A)(B)(C)」、「挑戦的萌芽研究」、「若手研究(S)(A)(B)」



応募・採択件数



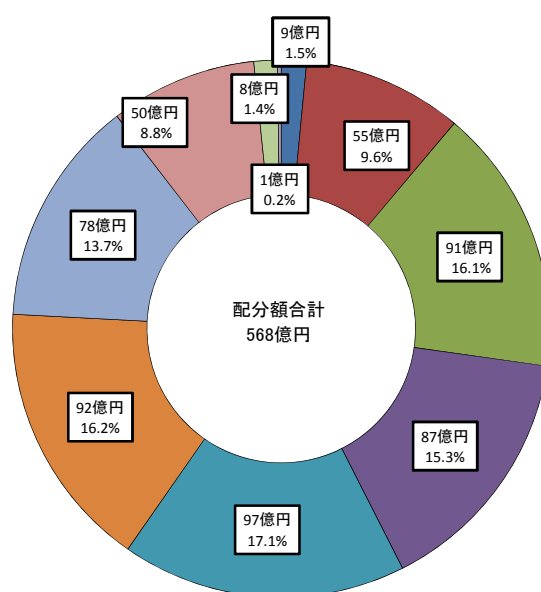
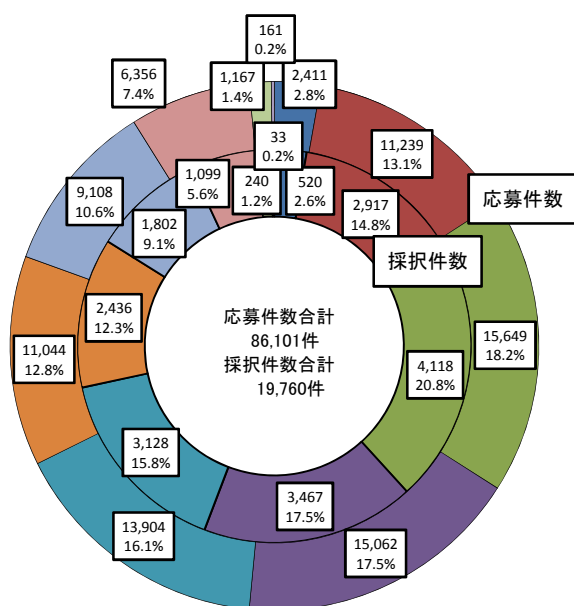
配分額

(6) 年齢別の状況

(単位:千円)

区分	応募 件数	採択 件数	採択率	配分額 (直接経費)
30歳未満	2,411	520	21.6%	863,900
30歳以上 35歳未満	11,239	2,917	26.0%	5,474,100
35歳以上 40歳未満	15,649	4,118	26.3%	9,135,900
40歳以上 45歳未満	15,062	3,467	23.0%	8,700,000
45歳以上 50歳未満	13,904	3,128	22.5%	9,731,900
50歳以上 55歳未満	11,044	2,436	22.1%	9,194,300
55歳以上 60歳未満	9,108	1,802	19.8%	7,762,600
60歳以上 65歳未満	6,356	1,099	17.3%	5,025,600
65歳以上 70歳未満	1,167	240	20.6%	798,900
70歳以上	161	33	20.5%	127,600
合計	86,101	19,760	22.9%	56,814,800

※対象:「特別推進研究」、「基盤研究(S)(A)(B)(C)」、「挑戦的萌芽研究」、「若手研究(S)(A)(B)」



応募件数・採択件数

配分額

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| ■ 30歳未満 | ■ 30歳以上 35歳未満 | ■ 30歳未満 | ■ 30歳以上 35歳未満 |
| ■ 35歳以上 40歳未満 | ■ 40歳以上 45歳未満 | ■ 35歳以上 40歳未満 | ■ 40歳以上 45歳未満 |
| ■ 45歳以上 50歳未満 | ■ 50歳以上 55歳未満 | ■ 45歳以上 50歳未満 | ■ 50歳以上 55歳未満 |
| ■ 55歳以上 60歳未満 | ■ 60歳以上 65歳未満 | ■ 55歳以上 60歳未満 | ■ 60歳以上 65歳未満 |
| ■ 65歳以上 70歳未満 | ■ 70歳以上 | ■ 65歳以上 70歳未満 | ■ 70歳以上 |

(7) 研究分野別の状況

※対象:「特別推進研究」、「基盤研究(S)(A)(B)(C)」、「挑戦的萌芽研究」、「若手研究(S)(A)(B)」

